

## 特許抄録

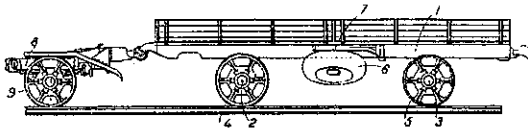
第21卷第4號 昭和10年4月

## 軌道及道路兩用車輛

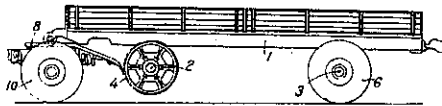
(特許第 109 113 號, 優先權主張 7-9-29)  
(特許權者(發明者) ヲイレーム氏)

此の發明は、軌道及道路何れにも使用せられ、且つ空氣入りタイヤの着脱には、車輛を持上ぐる等の手数を要せず、夫等相互間の變換を簡單容易ならしむる車輛を目的としたものであつて、第1圖及第2圖に示す

第 1 圖



第 2 圖



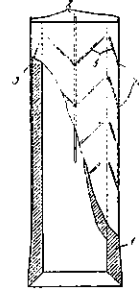
如く、2個の車軸(2)、(3)を備へ、之等車軸は何れも同じ大きさの軌道用車輪(4)、(5)を備へてゐるが、之等車輪の内1の車軸(3)に備へらるゝものは、之に前記車輪よりも大なる徑の道路用タイヤ(6)を、該車輪の外方側面上に取外し得るやうに固定し、他の車軸(2)に近き端部に於て車輛を自動牽引車(8)に連結して、車輪(4)をして地面上に充分高く持ち上げ得る連結装置を備へしめたものである。

## 井筒の改良

(特許第 109 314 號, 出願 9-4-17)  
(特許權者(發明者) 横山 耕氏)

此の發明は井筒を沈下せしむる際、土壤の摩擦抵抗を減じ、沈下後井筒支持力を増す爲に、壁體內に部分的又は全部的に射水管(2)を埋置し、射水管の噴出孔(3)より壓力水又は土砂を噴射し得るやうにし、井筒の外周面には噴出孔を起點として、斜上方に延長する溝を刻設したものであつて、沈下中に於ては水を、沈

第 3 圖



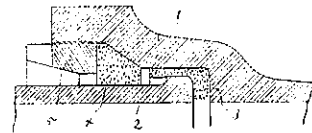
設後土砂を噴出するものである(第3圖参照)。

## 耐震鐵管継手

(特許第 109 395 號, 出願 8-7-24)  
(特許權者(發明者) 上平平三氏)

此の發明は、ソケット、スピゴット間に、ソケット(1)の底部に接し、スピゴットの先端を被覆せる、断面アングル状の第1ゴム輪(3)とソケット(1)の傾斜を有する段部、及びスピゴットの外周に接せる、断面略直角三角形の第2ゴム輪(4)との2段のゴム輪を介

第 4 圖



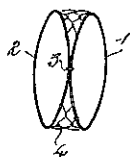
在せしめ、更に之等を壓止する爲、一端にソケットの口部に設けたる雌螺絲に螺合すべき雄螺絲を有し、他端に螺合用切欠部を有する止輪(5)を、スピゴットと適當の間隙を存して挿入したる耐震鐵管接手であつて、之に依り抗張壓縮及び彎曲の繰返し荷重に堪えしめんとするものである(第4圖参照)。

金網蛇籠自由屈折装置

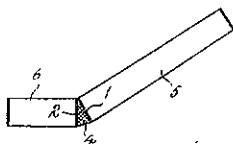
(特許第 109 483 號, 出願 9-7-11)  
 (發明者 荊木由太郎氏, 特許權者 川崎寛正氏)

此の發明は 2 個の胴輪 (1), (2) を 1 頂點又は 1 側邊に於て連結し, 該頂點又は側邊を軸として, 自由に開閉し得るやうにし, 該胴輪 (1), (2) 間に縮疊性金網を張つて, 楔形金網胴を構成する屈折装置であつて, 之に依り金網蛇籠を敷設現場の状況に適應して自由に屈折し得るやうにしたものである (第 5 圖, 第 6 圖参照)。

第 5 圖



第 6 圖



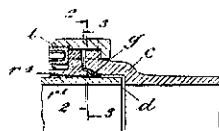
管接合部に關する改良

(特許第 109 444 號 優先權主張 7-6-8)  
 (特許權者 (發明者) パーシー, ハツチンソン, ウェルソン氏)

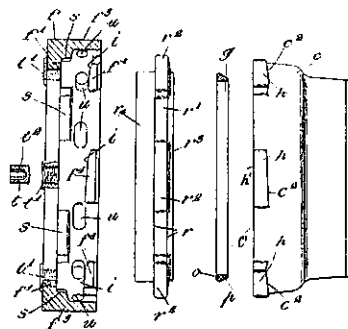
此の發明は, 栓 (d) 及び承口 (e) 間に, 填料 (g) を押込む接合維持環 (r) と, 螺旋狀面或は楔狀面を有する支承部を介して, 廻轉運動及び中心線方向移動にて,

前記の環 (r) を推進する如く, 接合すべき管と協働する圍繞環 (f) とを備ふる, 公知の栓及び承口式接合部に於て (第 7 圖及第 8 圖参照), 最終密封壓力を填料に加へんとする維持環 (r) は, 之と圍繞管 (f) との間

第 7 圖



第 8 圖



に作用する定着螺絲 (t) 装置にて, 圍繞環に對し廻轉することなく, 中心線方向のみに移動する如く改良したものであつて, 之に依り填料の捻扭を防止し, 2 管の接合方向を接合後, 多少調整し得るやうにしたものである。